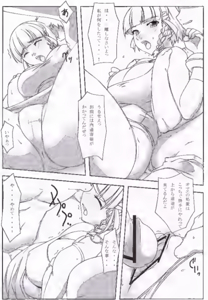
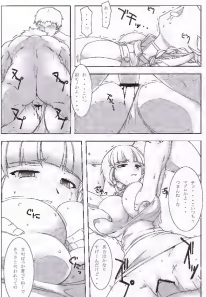
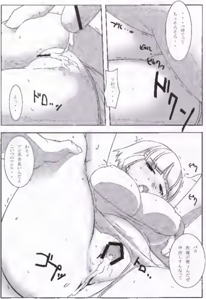
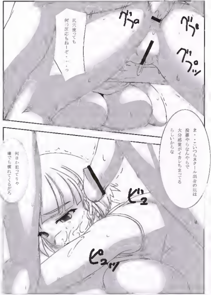
# SILVER

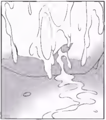

は・・離しなさいよっ
私が何をしたって・・・！
うるせえっ
お前には内通容疑が
かかってんだぜっ
あ
グッ
いやぁっ
オマエの処置は
こっちで勝手にやれって
上から通達が
来てるんだよ
ぐりっ
そんな・・・
そんな事・・・
ぬぷぷ
や・・・やめて・・・・


あ・・・
・・・っ
ブチッ‥
ビク
お・・・こいつ
初モノかよ・・・っ
ヌプ
ヌプ
ヌプ
ヌプ
チッ・・・こいつもっ
マグロかよ・・・
つまんねーな
ぎゅっ
ぎゅ
具合はかなり
すげーんだけど・・・
ズッ
ズプ
ぐに
ぐにっ
文句ばっか言ってねーで
さっさと代われっての

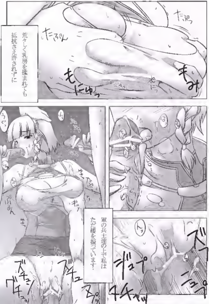

・・・っ待てって
もうそろそろ・・・
ブル…ッ
ビクル
ビクッ
ドクン
っおっ・・・・
ふっ・・・
ドロッ
バカ
次俺が使うんだぜ
中出しすんなって
ビク
ビク
トロ‥
ゴプッ
わりィ
マン具合良いんだよ
こいつのマンコ・・・

ほらもっと
マジにしゃぶれよ・・・!
・・・つよし
口開けろ・・・
ちゅっ
ちゅぱ
ちゅぷ
ビュ
ビュッ
パンパン
パンパン
しっかしよお
大丈夫かっこの女
ずっ
ずっ
ずっ


グプ
グプッ
グプ
尻穴使っても
何の反応もねーぞ・・・っ
ま・・こいつらスクール出身の奴は
投薬やらなんやらで
大分感覚がイカレちまってる
らしいからな
ビュ
ピュッ
何日か犯ってりゃ
嫌でも慣れてくるだろ



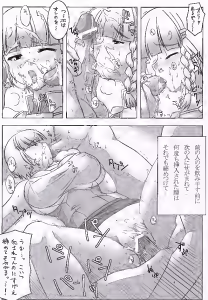
それまでこいつは
俺らの奴隷として
飼ってやるとしようぜ・・

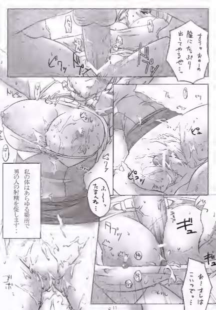


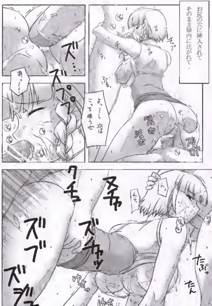
たぷっ
たぷん
もみ
ぬにっ
もにゅっ
はっ
ちゅぱ
レロ…
ビクッ
ふっ
うぐっ
ゆさっ
たぷっ
ぷるん
ギュッ
ズプ
ニュプ
ジュプ
トっ
チチャッ
ズチュ
ヌプッ
ズチュン
グチュッ

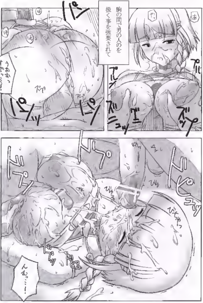
荒々しく乳房を揉まれても
抵抗さえ許されずに

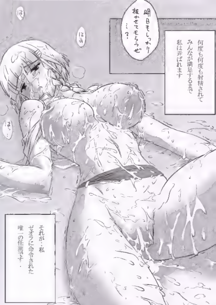
軍の兵士達の上で私は
ただ腰を振っています。

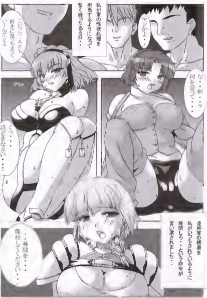

オラァッ
出るぞっ・・・
ビクッ
ビクッ
ごく
ドピュッ
びゅ
びゅるっ
は
つ・・・次は
オレのを・・・
あ、
前の人のを飲み干す前に
次の人にせがまれて
何度も挿入された膣は
それでも締めつけて
タプン
タプッ
ちゅぷ
ふっ
ふあっ
ずぷ
ぬぷ
パン
パン
パン
パン
うぉ・・っ こいつ
犯されてんのにすげえ
締めてきやがるっ・・・！

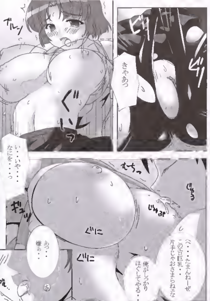

すうッ おめーの
膣にたっぷり
出してやるぜ…ッ
ドプン
ビクッ
ピュ
ぴゅっ
ビクッ
ふ…っ
たまんね…
私の体はあらゆる場所で
男の人の射精を促します…
ギュ
タプッ
ギュ
おぉ オレは
こいつで…ッ

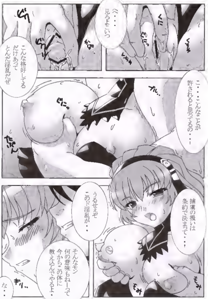

お尻の穴に挿入されて
そのまま腸内に注がれて・
チュプ
チュプ
チュッ
ぷるっ
ジュポ
ジュポ
ズポ
ズ・・・
ズププ
あっ…！
よっこいし 次は
こっち使うぜ
ん
んっ
ヌチャ
クチュ
ズチャッ
ズブブ
ズヂュ
ゆさっ
ゆさ
たぷっ
たん

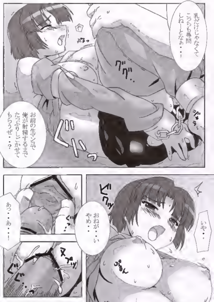

あっ
やっ
胸の間で男の人のを扱く事を強要されて
プル
プルン
ズップ
ヅニ
ズニュッ
パン
は
は
はっ
うおおっ すごっ…！
ズプ
ズプ
パンッ
パンッ
ドピュッ
びゅ
びゅ
ドプッ
ドプッ
びゅる
びちゃっ
ドプッ
ドピュ
んむっ…！


何度も何度も射精されて
みんなが満足するまで
私は弄ばれます
明日もしっかり
抜かせてもらうぜ
…？
はぁ
は…
は…
それが…私
ゼオラに命令された
唯一の任務です…

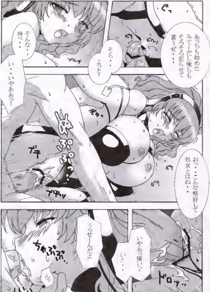

私が軍の性欲処理を担当するようになって暫く経ったある日・・
マジかよ・・
こいつら二人とも好きに犯っちまっていーんだとよ
な・・何・・っ何を言って・・・
くっ・・・ほどきなさい・・・！
連邦軍の捕虜を私がいつもされているように尋問しろ・・という命令が言い渡されました・・
・・・尋問を・・・開始してください・・・

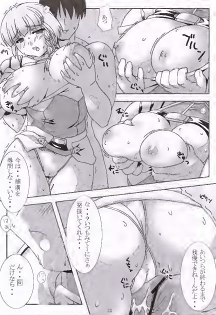

ビリ
ビリ
きゃあっ
ブルン
ぐいっ
い・・いや・・・
なにを・・・っ
じゅる
むちっ
じゅぷ
ギュッ
ぐに
へ・・・たまんねーぜ
このエロ巨乳・・
片手じゃおさまらねェな
俺がしっかり
ほぐしてやる・・
ぐに
あっ・・・
嫌ぁ・・・
あ

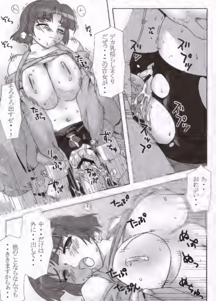

くに
ぐにっ
くちゅ
くちゅ
へ・・・見ろよこいつ
ぐり
ぐりゅ
かぱ・・
こんな格好してるだけあってとんだ淫乱だぜ
こ・・・こんなことが許されると思ってるの・・・
ブル・・
ぐに。
たぷん
捕虜の扱いは条約で決まって・・・
もみ
もみ
うるせぇぞ このド淫乱が・・
そんなモン何の意味もねーって今からこの体に教え込んでやるよ・・・
ぎりっ
な・・・


乳だけじゃなくて
こっちも尋問
しねーとなぁ・・！
ぷるっ
ググ・・
ジャラ・・
ぐいッ
お前の生マンコで
俺が射精するまで
たっぷりしごかせて
もらうぜ・・？
いや・・
ビクッ
おねが・・い
やめ・・
ぷるん
ぐ・・・
あっ・・あ・・・！
ヌプッ
ぐぐ・・っ

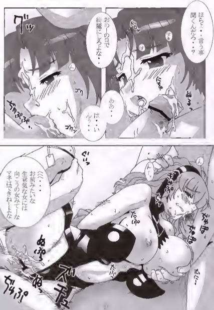
ああ・・
ブリット君・・
ごめんなさ・・い
ブルし・・
たぷ
たぷ
ぬるんっ
にちゃっ
くちゅ
たぷっ
ぐちゅ
やめ
ビク
あん
ゆさっ
ゆさ
ずぬっ
ダメ・
やさ
へ・・こいつぁ
いい具合だぜ・・っ
ずぽっ
ずちゅ
ぐぷ
じゅぷっ


ぐっ
あっちも始めたみてーだし俺らもそろそろ犯らせて貰うぜ・・・
ビク
ビクン
そら・・よっと
そんな・・待っ・・・
い・・いやあっ！
ブルッ
ぎゅっ
ぬぷぷっ・・
ブチ
ブチッ
おっ・・こんな格好して処女とはね・・
ビク
ビク
ドロッ・・
いやあっ痛いっ！
いた・・・
うっせーんだよ
ちゅぷぷ・・
んっ
ぐいっ

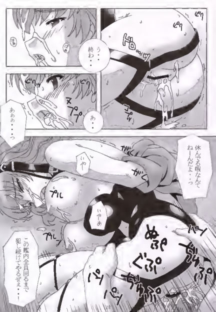

あっ
ブルンッ
ぐいっ
ぐいっ
ぎゅっ
ぴくっ
むに
ぎゅっ
むに
今は・・捕虜を尋問しな・・いと・・
ピクッ
あいつらが終わるまで我慢できね～んだよ・・
ぐに
くちゅ
ぐに
な・・？いつもみて～にさぁ一発抜いてくれよ・・
はぁ
ん・・一回だけなら・・
はっ

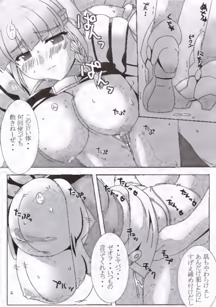

デカ乳揺らしまくりだぜっ・・この工ロ女が・・
そろそろ出すぜ・・・！
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
トゥ
トッ
たぷっ
たぷっ
ずっちゅ
りゅぷっ
ちゅぷ
ずぷ
ブル・
ズブプッ
ズッ
ズプッ
ズップ
あ・・おねがい・・・
中・・だけは・・
外に・・・出して・・・
他のことならなんでも・・きますからぁ・・
たぷ
たぷ
たぷ
たぷん
ぬぷ
ぬっ
ぬちゅっ

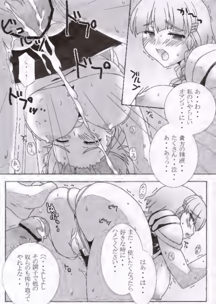
わっ・・仕方ねえ
うお・・・
もう出・・・っ
ジュプ
グチュッ
ニュプッ
トピュ
ピュ
ぐ。
ピュルッ
ビュ
うっ
ビクッ
たぱ
ビュッ
にちゃ・・
ドロ・・
たぱっ
はぁ
はぁ
はぁ
あっ・・
あはあっ・・・
ん・・
ビク

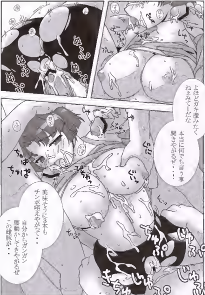

ほらよ・・言う事聞くんだろ・・？
ぐりっ
はぁ
は
にちゃ
ぬるっ
おめーの口で綺麗にしろよな・・
グッ
ん
ゴク
ゴクン
ぢゅぷぷ
ああ・・
は・・い
んぅ・・
ん
んーっ
ぢゅぷ
ちゅ
ぐいっ
へへ・・・
お前みたいな
生意気な女には
向こうの女みてーな
マネはできねーよな
ぢゅぽ
ぢゅぽ
たぷ
たぷっ
むにー
ズチュ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぢゅぷ

そら出すぜ
面上げろや・・・
ビュ
プッ
ドピュ
ピュッ
ビュル
ブル
う
く
ぬぷ
にゅぷ
キュ
ぐぐっ
キュ
俺は膣出ししてやる・・・
様あっ・・・・！
ドロ・・
ビュ
ドプ
ドプン
ドクン
どく
どくっ
ビク
ビク


ピク
ピク
ドロッ
ゴプッ
う・・
終わ・・・
はぁ
はぁ
ビク
ビクッ
ヌププ
あ・・
あぁあ・・・っ
休んでる暇なんて
ねーんだよ・・っ
がく
がく
いや
プル
いやぁ
パン
ぢゅぷ
ぬぷ
ぐぷ
ぢゅぷ
プルン
パン
パン
この艦内全員回るまで
犯し続けてやるぜぇ・・!

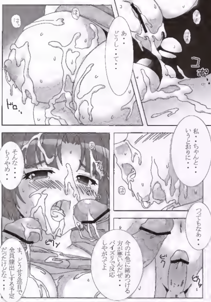

ぬぷゅ
くちゃ
ピクン
にちゅ
だ！
ぱんっ
ぱんっ
ん・・
つ・
ん
たぷ
たぷ
たぷ
この エロい体・・
何回使っても
飽きねーぜ・・
肌もやわらけえし
あんだけ犯したのに
すげえ締め付けだし
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
チュッ
チュプ
チュク
・・とヤバっ・・
ゼオラ・・いつもの
言ってくれよっ・・
たぷっ
たぷっ
んっ
プルッ

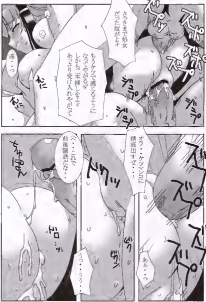

ガ〜〜ッ
ブルン
ブル
あ・・わ・・私のいやらしいオマンコ・・に・・貴方の精液・・たくさん・・注・・あ・・あうっ・・
ドプ
ビュルビュッ
ドプ
・・・・
ドプッ・・
あふっ
あっ
ん・・♡
ぴくっ
ぴくん
ぬぷっ。。
はあ・・は・・
また・・使いたくなったら好きな時に・・ハメてください・・
トロ・・
へ・・よしよしその調子で他の奴らのも搾り取ってやれよな・・

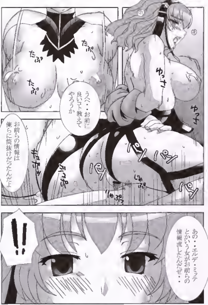

ぬっぷ
ぬっぷ
ぬっぷ
ぬっぷ
ぺちゃ
しゅ
しゅっ
ちゅぽ
ちゅぷっ
プルッ
よほどガキ産みたく
ねえみてーだな
本当に何でも言う事
聞きやがるぜ・・・！
しゅ
しゅ
くちゅっ
ぐに
ぐいっ
ちゅぱ
ちゅぱ
ぴちゃっ
美味そうに3本も
チンポ咥えやがって・・
自分からガンガン
腰動かしてきやがるぜ
この雌豚が・・
たぷ
じゅぷ
じゅぷ
ちゅぷ
じゅぷ
きちゅっ

うおっ・・
ぎゅっ
んあっ
どぴゅ
ビュルル
ひあっ
ピュッ
とぴゅっ
うっ・・・
ビュルルッ
たぱ
たぷっ
このデカ乳でパイズリしねー手はねえだろ・・・!
あっ
んだめ・
あ・・やば急に締まっ・・・
ビク
ビクッ
ニュップ
ニュプッ
ぐにっ
ぐに
ぐっ
どくんっ!
ドプ
トプッ

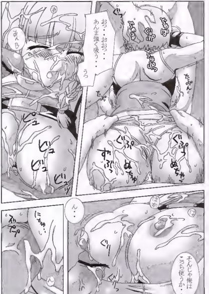
え・・や・・・
熱い・・・のが・・・
奥に・・・来て・・・？
ぬっ
ぬぷっ
ぬっぷ
うぅおっ
もうでちま・・・
あんっ・・・
あっ・・・
ぐいっ
ブル
ドプーン
ドプッ
ぴゅっ
ブル
ぎゅむっ
ぎゅっ
ぎゅ
ぐうっ・・・


コポ・・
あ・・どうし・・て・・
はっ
はっ
ドロ・・
私・・ちゃんと・・いうとおりに・・・
は
そんな・・・もうやめ・・
つってもなぁ・・
今のは急に締めつける方が悪いんだぜ・・パイズリで反応しやがってよ
ビク
ま、どうせ2巡目で全員膣出しする予定だったけどな・・・
ピクッ


ズプッ
ズポズポズプ
さっきまで処女だった奴がよォ
もうケツで感じるようになってやがるぜ しかも二本挿しをよォ あっさり受け入れやがって
ジュプ
ジュプ
ジュプ
蓮・・っ
むに
むに
オラ・・ケツマンコに精液出すぜ・・！
ズプズプズプズプ
あぁ・・っ
ドクッ
ビク
ビクン
うっ・・うう・・・
へ・・これで前後開通だな・・
ちゅぽん
ドロ・・ッ


ゆ
あ
ゆっさ
ゆっさ
たぷ
たぷ
たぷ
うへ・・お前に良いコト教えてやろうか
パン
パン
パン
パン
じゅぷ
りゅぷっ
ぶコポ
キュポッ
お前らの情報は俺らに筒抜けだったんだよ
あの・・エルデ・ミッテとかいう女がお前らの情報流したんだぜ・・
!!

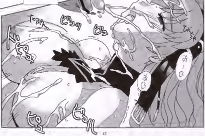
ぬるんっ
そんな・・嘘・・ウソよ・・・
その女お前にバラせって言ったぜ
こうやって精液飲ませながら言えってな・・・!
ふぐっ・・
トピュ
ぐいっ
ピュッ
トプン
おーおー急におとなしくなりやがって
ドロぉッ
はぁ
これから毎日犯してやるからよ仲良くやろうじゃねーか・・・へへ・・・
ゴプ・・

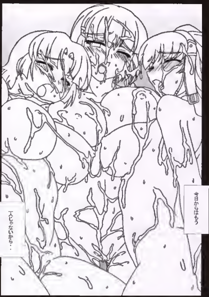

ぐっ
ちゅぱ
ぐぷ
ちゅる
ちゅぷっ
たぷん
たぷ
ぐぷっ
ぬちゃっ
ぐぷ
ずぷっ
ぬちゅ
おっ・・おおっ・・・
あんま強く吸う・・・
うっ
あ
あん♡
ピュ
ビュ
ビュ
ビュッ
はぁ
は
そんじゃ俺は
こっち使うか・・
ぐり
ぐりっ
ん・・
にちゅ・・
ズりプ
ん

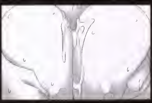
あっ
あ
ぬっぷ♡
ぬっぷ♡
ぬっぷ♡
ぐちゅ
ぐちゅ
はむっ
ぺちゃ
ぺちゃ
ドピュ
ゆさ
うお・・良過ぎ・・・っ
ドピュッ
ドピュッ
ビュー
ビュルルン
ゆさ
にちゃ…
ぴちゃ
くちゅ
くちゅ
ああ・・アラド・・・

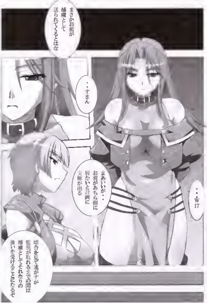
あなたが居なくなって
ずっと寂しかったけど
うっ
あっ
かし
はむ
あはら
あっ
ねと
ねと
ぺちゃっ
ぴちゃ
ぴちゃ
たぷん
たぷっ
ん
ん
くぷ
くぷ
ぱん
ぱん
くちゅ
くちゅ
ぱん
ぱん

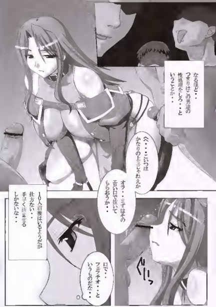
がく がく
じゅぷ
じゅぷ
たぷ
たぷ
じゅぷっ
たぷ
たぷ
ちゅぽ
じゅぽ
きゅぷ
ぬぷっ
私はもう
大丈夫・・


びゅちゃぷ
びちゃ
あ♡
あ♡
ビュッ
ビュ
たぷん
どぴゅっ
ビュル
ピュ

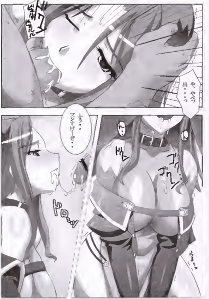

今日からはもう
一人じゃないから・・

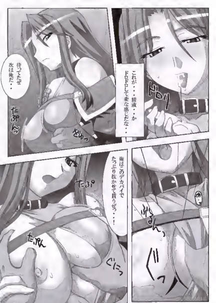


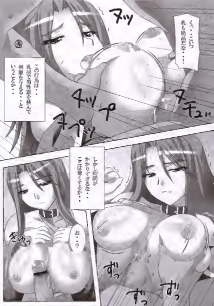

まさかお前が捕虜として送られてくるとはな
・・すまん
・・・W17
まあいいが・・お前があちら側に居ないと計画に支障が出る
頃合を見て逃がすが監視が取れるまでの間は捕虜としてそれなりの扱いを受けることになるぞ

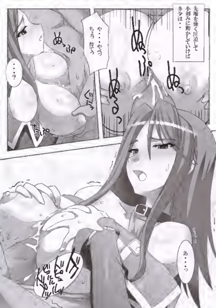

なるほど・・
つまりはこの男達の
性処理をしろ・・と
いうことか・・
へへ・・・こいつは
かなりの上玉じゃねえか
オラ・・まずはその
エロい口で抜いて
もらおうか・・
10人前後はいるようだが
仕方ない・・
手早く済ませる
しかないな・・
ぐいっ
口で・・
フェラチオ・・と
いうものだな・・

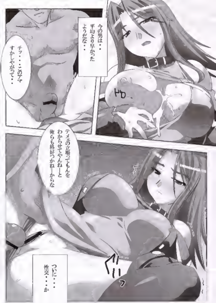
ぬっぷぷ‥
グポッ
ぐぽっ
うおっ・・・!
ぐぽっ
くぷっ
ぐぽっ
こ、こいつ凄ぇテク
持ってやがる・・・!
ビクン
ぬぷ
ぬぷ
ちゅぱ
じゅぽ
脈拍上昇・・
呼吸も乱れている・・・
そろそろ・・・だな
カポッ
ジュルルルッ
ズルルルッ
ジュルルルッ
ズルルルッ

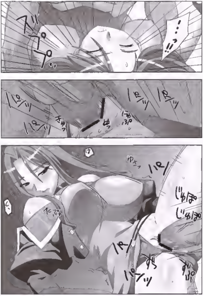

ドクン
や、やべっ
出・・・っ
ふう・・
マジすげーぜ・・
ん・・
ドクン
ゴクッ
ゴクン・・
ドロ～ッ
ぷるるっ

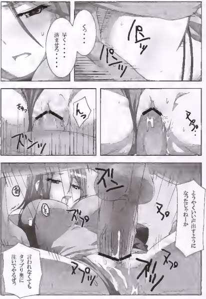

ドロリ
これが・・・精液・・・か
ドロドロして変な感じだな・・・
待ってたぜ
次は俺だ・・
ぎゅっ
たぷんっ
ぷるんっ
ぐっ
俺はこのデカパイで
たっぷり抜かせて貰うぜっ・・・！
たぷ
たぷん
ぐにっ

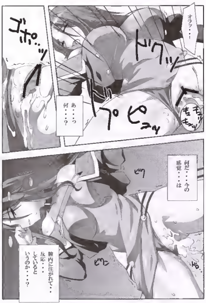

ヌッ
く・・こいつ
乳も絶品だな・・・
この行為は・・・
乳房で男性器を挟んで
刺激を与える・・と
いうことか・・・
ヌチュッ
ヌップ
ヌプッ
しかし時間が
かかりすぎるな・・
ここは強くするか・・
お・・？
きゅっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ

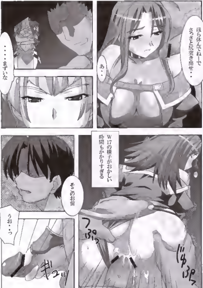

先端を強く圧迫して
小刻みに動かしていけば
多少は・・
ぬっぷ
ぬっ
ぬるっ
や・・・やべっ
ちょう 待てっ
ぬっぷ
くりっ
・・・？
たぷ
あ・・・っ
ガ
ビュ
びゅるる
ドリュプッ

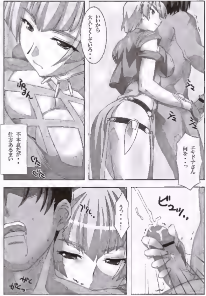

今の男は・・
平均より早かった
ようだな・・
チッ・・・このアマ
すかしやがって・・・
ドロ
テメエの立場ってもんを
わからせてやんねーと
俺らも格好つかねーからな
ついに・・・
性交・・・か
ぐいっ

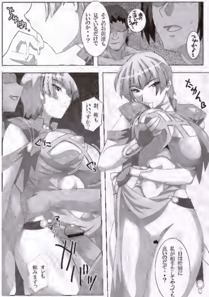

・・・ッ!!
ズプププッ
パンッ
パンッ
にゅぷっ
ぬっ
きゅっ
パンッ
パンッ
パン
ゆさっ
は
じゅぽ
じゅぽ
ずぷ
パン
ずぷっ
パンッ
たぷん
く、

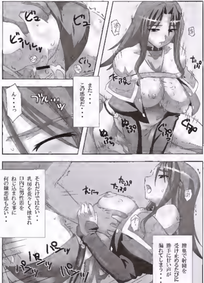

くっ・・・
早く・・・・
済ませろ・・・・
パンッ
パンッ
んっ
きゅっ
ズンッ
ヌプ・・
ようやくいい声出すようになったじゃねーか
ズン
ヌプ
ズプ
くぅっ
あっ
ズリッ
ヌプッ
ヌプッ
言われなくてもタップリ奥に注いでやるぜっ

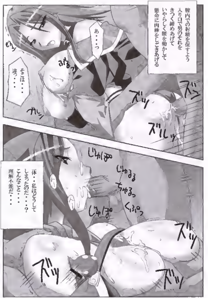

オラッ・・・！
ドクッッ
キュッ
キュッ
ドプピュッ
あ・・・っ
何・・・？
ゴポッッ
何だ・・・今の
感覚・・・は
ビク
ドロ・・・
ビクン
膣内に注がれて・・・
反応・・・
していると
いうのか・・・？

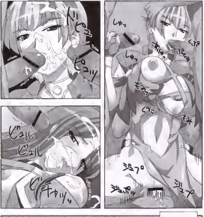

ほら休んでねーで さっさと尻突き出せ・・
あ・・
・・・・まずいな
W17の様子がおかしい 時間もかかりすぎる
じゅぷぷっ
つぷっ
そこのお前
うお・・っ
ギュッ!!


シュ
シュ
シュ
エキドナさん 何を・・っ
いいから大人しくしていろ・・
ぷるん
不本意だが・・仕方あるまい
ぐに ぐに
ビュッ・・
うっ・・・！
ブル・・
がく がくっ


マジかよ・・
あの
手ドけさんが・・
そこのお前達も
見ているだけで
いいのか・・？
ちゅぱ・・
たゆん♡
今日は特別に
私が相手をしてやっても
良いのだぞ・・？
お、俺も
いいっすか？
ぐにっ
ぐっ
ずりずり
ザバッ
オレも
頼みますっ

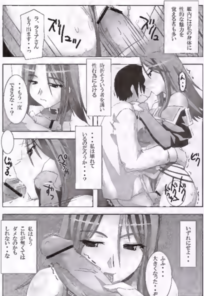

あん
あ
たぷ
ぷるん
ぐぽ
ぐぽっ
ぬぷ
ぬぷ
また・・・この感覚だ・・・
ビュ
ビュ
ビュルルルッ
ぐら
ん・・・っ
ブルルッ
膣奥で射精を受け止めるたびに勝手に甘い声が漏れてしまう・・・
たぷ
たぷ
むにっ
それだけではない・・乳房を荒々しく揉まれ口内に男性器をねじ込まれる事に何の嫌悪感もない・・
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ

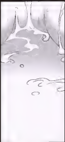

膣内での射精を促すよう
入り口で男のそれを
きつく締めあげて
いやらしく腰を動かして
懸命に肉棒をしごきあげる
あ・・・っ
ズンッ
ズッ
ズルッ
ぷるっ
ビクン
そこは・・・ 違っ・・・
ブルンッ
じゅぽ
じゅるる
ちゅるっ
くぷっ
じゅぽ
一体・・私はどうして
しまったのだ・・・？
こんなこと・・・
理解不能だ・・・
ズッ
ズッ
ズッ

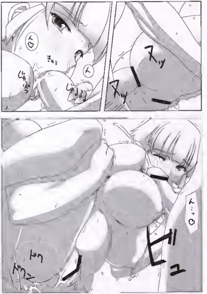

しゅっ
ずりゅっ
くぷっ
しゅっ
ぷちゅ
もみっ
ぐにっ
もみ
ジュプ
ジュポッ
ジュプ
ドピュッ
ピュッ
ビュル
ビュル
ビチャッ
とろ…

その後・・私は
エキドナの手引により
当初の予定通り
ハガネに帰還した

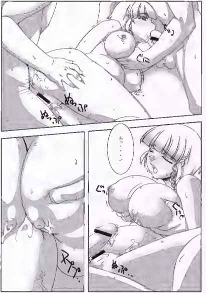
だが・・・
私はいまだに
おかしいようだ・・

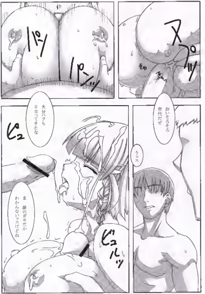

艦内には私の身体に
性的な魅力を
覚える者も多い
ズリュ
ズリュッ
ラ、ラミアさん
もう出ます・・っ
ん・・・
時折そういう者を誘い
性行為にふける
・・・もう一度
できるな・・・？
・・・私は壊れて
いるのだろうか・・・？
ビク
ドクドクドク
ぺちゅ
ずっ
じゅる
いずれにせよ・・
ふふ・・・
大きくなった・・ぞ
私はもう
これが無くては
ダメなのかも
しれない・・な



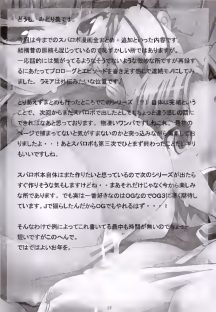

ヌッ
ヌッ
ん♡
きゅう
ん
じゅぷっ
じゅるるる
んっっ♡
ビュ
ドク
ドクン

コプッ
はっ
ちゅる
ん
ロ゚ロ゚ロ゚
ちゅるぷ
きゅぽ
きゅぽ
ゆさ
パン
パン
パン
ゆさっ


ちゅっ
ぐに
ぬっぷ
ぬっぷ
あっ・・・・ン
ぐっ
ぐっ
ぬぷ…
ズププ…


ヌプッ
きゅ
きゅっ
パン
パンッ
おいそろそろ交代だぜ
ウッス
大分ハラも目立ってきたな
ピュ
ま 誰のガキだかわかんないッスけどね
ビュルッ

そろそろ堕ろさせてやんねーと・・・
まだまだ犯りたりねー奴は
大勢いるんだからな
なに・・心配すんなって
また俺らが孕ませて
やるからよ・・・



どうも、みどり葵です。

今回は今までのスパロボ漫画全まとめ＋追加といった内容です。
結構昔の原稿も混じっているので恥ずかしい所ではありますが。
一応話的には繋がってるようなそうでないような微妙な所ですが再録するにあたってプロローグとエピソードを書き足す感じで連続モノにしてみました。ラミアは外伝みたいな位置です。

とりあえずまとめも行ったところでこのシリーズ（？）自体は完結ということで、次回からまたスパロボで出したとしてもちょっと違う感じの話にできればなあと思っております。物凄いワンパですしねこれ。最初のページで捕まってないと気がすまないのかと突っ込みながら編集しておりましたよ・・！あとスパロボも第三次でひとまず終わったことだしキリもいいですしね。

スパロボ本自体はまた作りたいと思っているので次のシリーズが出たらすぐ作りそうな気もしますけどね・・まあそれだけじゃなく今から楽しみな所であります。でも実は一番好きなのはOGなのでOG3に凄く期待しています。Jで揺らしたんだからOGでもやれるはず・・・！

そんなわけで例によってこれ書いてる最中も時間が無いのでちょっと短いですがこのへんで。
ではではよいお年を。